

また、ソーシャルメディアを活用した情報発信「みずりん・岡山県鏡野町」による積極的な町の魅力発信を併せて行っておりま

青少年の健全育成

担当…生涯学習課

電話…54-0573

Q6. かがみのつ子表彰の事業は今後の予算をかけて続けていくべきでしょうか。将来的にも参加しにくいような気がします。各小学校で下級生の前で行う方がいいのでは。区長推薦といつても親が記入しているのが現状なので、過去の参加者にアンケートを行うなど今後についてはよく検討してほしいです。

A6. 表彰式の方法等を検討してまいります。

平成29年度の表彰式には77名(出席率69%)の児童が出席し、全員からアンケートの回答をいただきました。その中で、受賞した気持ちについての質問では「うれしかった」「はげみになった」と回答した児童の割合が92%、また、受賞した賞が自分にあっているかどうかの質問で「あっていた」と回答した児童の割合が87%でした。以上のことから、かがみのつ子表彰の「児童の健全な心身の発達を促し未来を担う人づくりに資する」という目的がある程度達成できているものと思います。ただ、「時間が長い」等のご意見もいただいております。児童並びに保護者のみなさまの負担を少しでも軽減できるよう考えてまいりたいと思います。

循環型社会の形成

担当…くらし安全課

電話…54-2780

Q7. プラスチックを出すときに少しでも

違うものが入っていたら、持つて行ってもらえない。これはいきすぎではないでしょうか。協力しようと思ってもできません。最近は区別しないで、全部可燃ごみに出すという話をよく聞きます。

A7. ごみの分別、減量化のため、ご理解とご協力をお願いします。

プラスチック容器包装は、津山圏域クリーンセンターに搬入後、作業員の手で再度選別され、品質を確保した上でリサイクル業者に引き渡しています。

異物や汚れたものが混入していると、きれいなものにも汚れが付着してしまいますし、選別作業の効率の悪化や、異物により作業員がケガをすることがあるため、出していたく際には、水で軽く洗ったり、汚れをふき取っていたり、汚れが取れないものや、容器包装以外のプラスチック製のものは可燃物として出していたくようご協力をお願いしているところです。

ごみの分別、減量化を進めるために、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

定住化の促進

担当…まちづくり課

電話…54-2982

Q8. 住みよい環境、働く場を増やし、定住化を進めてほしいです。自然豊かな鏡野町が若者にとって魅力ある町になってほしいです。

A8. 引き続き定住化の推進を進めてまいります。

定住化の促進につきましては、引き続き町の重点課題として取り組んでまいりたいと考えています。

その中で、まずは町内で生まれ育った方々

について、そのまま町内に留まっていただけのような政策の展開や地元企業の就職紹介などを推進していきたいと考えています。

また、鏡野町という名に魅力と誇りの持てる町にしていきたいと、連携している自治体や大学・団体との連携についても強化し、鏡野町の知名度向上も合わせて図って行きたいと考えています。

地域情報化の推進

担当…くらし安全課

電話…54-2780

Q9. インターネットの速度が遅いです。特に18時以降が遅すぎます。せつかく光ケーブルを使用しているのに、もったいないと思います。

A9. 快適なサービスの提供に努めます。

インターネット通信速度については、ネットワークの混雑や異常等は常に監視し、状況確認を行っておりますが、ご指摘の18時以降にネットワークの極端な混雑や異常の状態は現在のところ見受けられません。

なお、現在インターネットを通じて情報の受発信、また、各種の動画配信サービス等の流行により、今後ますます通信量が増えることが予想されます。今後もネットワークの調整や通信容量の増幅等を行い、快適なインターネットサービスを提供していきたいと考えています。

道路網の整備

担当…建設課

電話…54-2989

Q10. 朝の除雪をもう少し早い時間にしてください。仕事に行くのに困ります。また、台数を増やすことはできませんか。

A10. できるだけ早い除雪に努めていますので、ご理解いただきたいと思います。

昨年度も除雪作業に對しまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。町では、朝4時に積雪状況を確認し、10cm以上の積雪があった場合、原則朝5時以降より除雪作業を開始しています。降り始めの時間が遅かったり、異常な積雪があった際には除雪が間に合わない場合もあります。オペレータも早朝より過酷な作業を一杯行っておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

住民の町づくりの推進

担当…まちづくり課

電話…54-2982

Q11. 子育てが終わったり、地域と関わるのが少なくなりました。地域活性化のために、余力のある方を活用する場を町に作ってほしいです。

A11. NPOやボランティア団体の活動への参加をご検討ください。

現在の町の状況として、地域に対する関心が低下してきており、それに伴って地域住民の関係の希薄化が懸念されています。

そうしたことから、まずは行政や地域あるいはNPO団体等が開催する各種イベントなどに積極的に参加していただきたいと考えています。

町内においても、福祉あるいは地域活性化のため、色々な事業について自発的に取り組んでおられる、NPOやボランティア団体も多くありますが、活動に参加してほしいと望んでおられるところも多くあります。そうした場において、自身の力を発揮されるのも一つの方法であらうかと思えます。